

レジメンと主な副作用の指導内容

☆治療スケジュール (GDP short)

下記の治療を3週間毎に繰り返します。

時間	薬品名	用量	/	/	/	/	...	/
30分	アロキシバッグ (吐き気予防) デキサメタゾン	0.75 mg/袋 【33mg/body】 mg	○					
30分	デキサメタゾン	【33mg/body】 mg		○	○	○		
30分	グラニセトンバッグ (吐き気予防) デキサメタゾン	3 mg/袋 【33mg/body】 mg						○
30分	ゲムシタピン	【1000mg/m ² 】 mg	○					○
1時間	硫酸Mg ソルデム3A (利尿、腎障害予防)	8 mEq/ml 500 ml	○					
1時間	マンニトール (利尿剤)	300 ml	○					
1時間	シスプラチン	【75mg/m ² 】 mg	○	※				
1時間	生理食塩水 (利尿、腎障害予防)	500 ml	○					

☆副作用について

- **腫瘍崩壊症候群 (当日～)**
急激な細胞の崩壊により腎障害などをきたすことがあります。
- **血管痛 (ゲムシタピン点滴中)**
温めると和らぐことがありますので、症状が現れた場合はすぐにお知らせください。
- **吐き気 (当日～)**
- **味覚異常、臭覚過敏 (当日～)**
- **便秘 (当日～)**
- **不眠**
- **しゃっくり**
自然に軽快しますが、苦痛を感じる場合は申し出てください。
- **発熱、皮疹 (当日～)**
38℃以上の発熱時や、全身に広がる皮疹が出現した場合は受診してください。
- **口内炎 (1～2週間ごろ)**
普段からうがいなどで口の中をきれいに保ってください。
- **下痢**
腹痛や1日4回以上の下痢、水様便、夜中に下痢が継続する場合はお知らせください。
- **聴覚障害**
高い音が聞きとりにくい、耳鳴りがするなど症状が現れた場合は連絡してください。
- **腎機能障害**
予防のために水分の点滴を行い、尿量を確保します。
無理のない程度の水分摂取を心掛けてください。
- **間質性肺炎**
咳・息切れ・息苦しい・発熱などの症状が現れることがあります。
- **骨髄抑制 (1～2週間ごろ)**
白血球、赤血球、血小板など血液成分が減ることがあります。
→白血球減少時は感染症にかかりやすくなりますので、手洗い・うがい・マスク着用を心掛けてください。
値によっては増やす薬を使用することがあります。
→赤血球減少時は貧血症状が起こりやすくなり、血小板減少時は血が止まりにくくなります。
赤血球・血小板減少時は輸血が必要になることもあります。

☆特に抗がん剤投与の日は、無理のない程度に水分の摂取を心掛けてください。
1日目のシスプラチン投与終了までに、1リットル程度の水分を飲んでください。

☆注意事項

※現れる副作用は個人差があります。上記の副作用以外にも気になる症状が現れた場合は相談してください。
※抗がん剤投与中に点滴・注射部位が痛んだりのはれたりした場合はすぐにお知らせください。
※血液検査の結果や副作用の現れ具合によってお薬が延期・減量・休薬・中止になる場合があります。